

取扱説明書

デジタルカメラ用 交換レンズ

品番 **S-S40**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- パナソニックの会員サービス「CLUB Panasonic」に「商品登録」をお願いします。詳しくは、裏面をご覧ください。

保証書別添付

パナソニック株式会社
〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号



DVQX2977ZA

© Panasonic Corporation 2026

F0426MZ0

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。
--	--------------	--	------------------

警告

- デジタルカメラに取り付けて使用中に異常・故障が発生したときには直ちに使用を中止する
 - 煙が出たり、異常なおいや音がする
 - 映像が出ないことがある
 - 内部に水や異物が入った
 そのまま使うと火災・感電の原因になります。
 - デジタルカメラの電源を切り、販売店にご相談ください。

- 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。
 - 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
 - 特にお子様にはご注意ください。

警告

- 太陽や強い光源にレンズを向けたり、のぞき込んだりしない
太陽や強い光源に向けると、集光作用により周囲の燃えやすいものを発火させたり、内部部品が破損するなど、火災・故障の原因になります。また、のぞき込むと失明につながります。
 - 必ず、付属のレンズキャップとレンズリアキャップを付け、太陽光が直接当たらないようにしてください。

- デジタルカメラに取り付けて、電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない
本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど*の原因になります。
 - 長時間で使用する場合は、三脚などをお使いください。
 - *血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

注意

- レンズの上に重い物を載せたり、乗ったりしない
倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、故障の原因になることがあります。

- 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

- 低温下で長時間、直接触れて使用しない
寒冷地(スキー場などの0℃以下の環境)で長時間、直接触れていると皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。
 - 長時間で使用する場合は、手袋などをお使いください。

• デジタルカメラの取扱説明書「安全上のご注意」も併せてお読みください。

まずお読みください

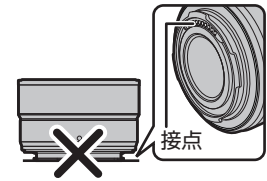
本レンズは、ライカカメラ社L-Mount規格に準拠したデジタルカメラに取り付けて使うことができます。
35 mm フルサイズイメージセンサーに対応しています。
• より快適な撮影のために、デジタルカメラ / レンズのファームウェアを最新のバージョンにすることを勧めます。
• ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/download/top.html>

- L-Mountはライカカメラ社の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

ご使用前に

■ レンズの取り扱いについて

- レンズを使用するときは、落としたり、ぶつかけたり、無理な力を加えたりしないようお気をつけください。レンズおよびデジタルカメラの故障や破損の原因になります。
- レンズ表面のほこり、ごみ、汚れ(水、油、指紋など)が画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前と撮影後に、ブローでレンズの表面に付いたほこりやごみを吹き飛ばしたあと、乾いた柔らかい布で汚れを軽くふいてください。
- ほこりやごみの付着、侵入を防ぐため、使用しないときは、レンズキャップ、レンズリアキャップを取り付けてください。
- レンズの接点を保護するため、以下のことはしないでください。故障の原因になります。
 - レンズの接点に触れる
 - レンズの接点を汚す
 - レンズ取り付け部を下にして置く



■ 防じん防滴について

- 本レンズの防じん防滴構造は、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。防じん防滴性能を満足させるには、次の注意事項をお守りください。正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口(修理に関するご相談)(→裏面)にお問い合わせください。
 - 防じん防滴対応のデジタルカメラに取り付けてください。
 - レンズの取り付け、取り外しの際は、レンズマウントラバー、接点、デジタルカメラおよびレンズの内部に砂やほこり、水滴が侵入しないようにしてください。
 - 液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 本レンズは、防じん防滴性能の向上のため、マウント部にレンズマウントラバーを使用しています。
 - デジタルカメラのマウント部にレンズマウントラバーのすれ跡が付いても、性能には問題ありません。
 - レンズマウントラバーの交換については、ご相談窓口(修理に関するご相談)(→裏面)にお問い合わせください。

■ 露付き(レンズが曇るとき)

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズの汚れ、かび、故障の発生原因になるためお気をつけください。
- 露付きが起こった場合は、デジタルカメラの電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、自然に曇りが取れます。

• 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

付属品

付属品をご確認ください。



記載の品番は2026年4月現在のものです。変更されることがあります。

	レンズキャップ* 6GE1SR1840Z		レンズリアキャップ* RGE1Z276Z
--	-------------------------	--	-------------------------

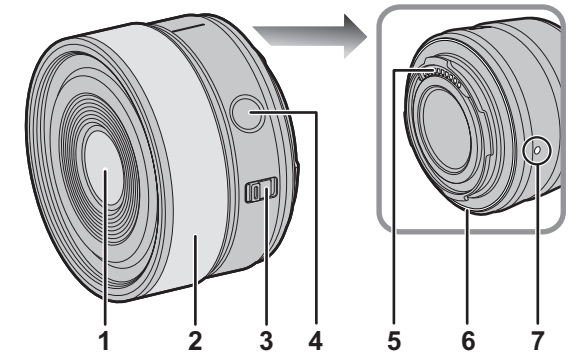
- * お買い上げ時はレンズに装着されています。
- * 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの公式通販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはサイトをご覧ください。

パナソニックの公式通販サイト
<https://panasonic.jp/store/>



各部の名前と働き



- 1 レンズ面
- 2 フォーカスリング
MF(マニュアルフォーカス)のときにフォーカスリングを回して、ピントを合わせます。
 - 対応するデジタルカメラのメニューで、フォーカスリングの設定ができます。(MF時)ピントの移動量を設定できます。(AF時)絞りやシャッタースピードの設定など、カメラでよく使う機能を割り当てることができます。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をお読みください。
- 3 AF/MFスイッチ
AF(オートフォーカス)とMF(マニュアルフォーカス)を切り換えます。
 - デジタルカメラの設定をMFにした場合、AF/MFスイッチの位置にかかわらず、MFで動作します。
- 4 フォーカスボタン
フォーカスボタンを押している間、ピントを固定します。
 - 対応するデジタルカメラのメニューで、フォーカスボタンの機能を変更できます。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をお読みください。
- 5 接点
- 6 レンズマウントラバー
- 7 レンズ取り付けマーク

お知らせ

- 最短撮影距離付近で撮影すると、画面周辺部の画質が低下します。撮影結果を確認しながら撮影することをお勧めします。
- 動画撮影時にAFの動作音が気になる場合は、MFにして撮影することをお勧めします。

